

清瀬市郷土博物館協議会 令和7年度第1回議事録

日 時 令和7年8月27日（水）午前10時～正午

場 所 清瀬市郷土博物館 講座室

出席者 委 員 岩本重雄、小俣洋子、森田善朗、福島努、築瀬正子（敬称略）
事務局 木原経営政策部シティプロモーション担当部長、
東野係長（館長事務取扱）、中野主任（学芸員）、笠原会計年度職員（学芸員）、日暮会計年度職員（学芸員）

会議の公開・非公開 原則公開

傍聴者 無

配布資料 資料1 令和6年度事業報告
資料2 令和7年度事業報告・事業予定
資料3 清瀬市郷土博物館 令和8年度事業計画（案）
資料4 令和8年清瀬市郷土博物館特別展
資料5 文化財保存基金実施例

議 事 1 開会
2 館長挨拶
3 議題
（1）令和6年度事業報告について
（2）令和7年度事業執行状況報告及び予定について
（3）令和8年度郷土博物館特別展について
4 文化財保存基金、文化財コーナーの設置について
5 その他
6 閉会

【議事要旨】

1 開会

会長より挨拶。

2 館長挨拶

審議会の開催時期について例年、11月、12月頃に開催していたが審議内容を来年の運営に反映させるため、早くに開催したことを説明。

3 議題（協議経過等）

（1）令和6年度事業報告について

事務局より上記について資料1に基づき館長より報告。

（会 長） 報告について質問等はあるか。

（委 員） 宿泊体験について、参加者4名の絞り方、広報等について知りたい。

（館 長） 定員は6名であり、定員割れで4名となった。広報は市報・インターネットで行った。内容は昔遊び体験、宝探し等を実施。参加した子どもにとって満足度の高いものとなった。

（部 長） 宿泊がメインというよりも、寝る体験や自分で食事を作り、食べる体験が主となっている。一時はコロナ禍で中止していた。

（委 員） お金はとっているのか。

（事務局） 材料費分のみ徴収している。

（会 長） 何年生が対象か。

（事務局） 3年生を対象としている。

（会 長） 11月の清瀬美術家展について、ワークショップの実施時期が10月なのはなぜか。

（事務局） 清瀬美術家展40周年記念のため、ワークショップの作品を同時に展示したかったため。

（2）令和7年度事業執行状況報告及び予定について

館長より上記について資料2に基づき報告。

（会 長） 資料2について質問等あるか。

- (会 長) 12月に行われるクリスマスローズ展は横山さんが生育したものを展示するのか。
- (館 長) 生育した植物の展示も予定しているが、横山さん自身が収集した工芸品、クリスマスローズが描かれている皿や絵画等を所有しているため、こちらで選定しギャラリーで展示する予定であえる。本物の花は館外の入口に展示する予定だが、開花時期が若干早いためどの程度置けるかは分からない。
- (部 長) 横山さんの父親が沢山クリスマスローズの工芸品を収集しており、友の会から提案があったため展示の話が出たと聞いている。
- (委 員) 横山さんの父親はクリスマスローズの原産地を歩き、現地でクリスマスローズの描かれている陶器など貴重なものを集めており、ぜひ皆さんに見ていただければということで友の会から提案した。展示では収集したものがメインになる。
- (委 員) 結核展について、療養所の文化、芸術、まちづくりとある。療養所の方が清瀬の市民となり、まちづくりに貢献した側面にもスポットを当ててほしい。
- (館 長) 南口の銀座会の方でも療養されていた方は多い、市史で関係もあるのでそういったところでも紹介できればと思う。

(3) 令和8年度郷土博物館特別展について

事務局より上記について資料3・4に基づき報告。

- (会 長) 資料3・4について質問等あるか。
- (会 長) 特別展で指定民俗文化財を扱うことは良いと思う。万作等は町おこしに使えるのではないか。映写室で万作の映像を見せてもらえるのか。
- (館 長) 映像が見られるよう、学芸で検討したい。
- (会 長) 万作の着物等も見せてもらいたい。
- (委 員) 着物は今も残っているのか。
- (部 長) 中里万作の着物は残っている。寄託という形で預かっている。市内には万作の他にも石碑など文化財になり得るものが多々あり、その保存活用計画のため調査を行った。それに基づき、今後の指定・登録を考え、市の宝となり得るものがどうなっているのかを示していきたい。持ち主が望むのであれば、積極的に宣伝して保存していきたい。
- (委 員) 当事者に話を聞くと、継続が難しいという。規模を縮小していたり、技術の継承に苦労している。保存への助成・協力をお願いしたい。中

里万作のように明治以降続けてきたものが消失しては町としても損失なので、そういうことがないようにしてほしい。

(部 長) 資料5にも関係するが、他市ではこのような基金を実施している例があり、清瀬市としても今後考えていきたい。先程もあったが、文化財や市の宝と呼べるものを持ち主が望めば文化財コーナーを設けて紹介したい。市のシティプロモーション課に博物館は属しており、そうした意味でも市の宣伝としても今後行っていきたい。

(委 員) 清瀬の自然は文化に大きく関わっている。清瀬の自然生態系は全国の専門家から見ても非常に希少である。都市近郊にしては珍しいカタクリ等の群生地もある。関東では筑波山にしか分布がないヒナワチガイソウの分布もある。これらは天然記念物にも匹敵する。市民の方に広く知ってもらうため今後展示をしてほしい。

4 文化財保存基金、文化財コーナーの設置について

館長から資料5に基づいて報告。

(会 長) 資料5について質問等はあるか。

(会 長) 文化財の候補として寺院の声明が博物館に保存してあると聞いているがどうか。

(館 長) 円通寺のものだと思う。前の住職が人間国宝になっていた。VTR、音声の記録はあり、今後保存していく必要はあるが、現状は予算の関係もあり難しい。

(部 長) そうした市内の著名人の紹介をするコーナーはこれまでなかったもので今後検討したい。あり方としては、俳優や歌手なども視野に入れ、もう少し広い目で見ながら行う必要がある。

5 その他

(会 長) その他について質問等はあるか。

(委 員) 多摩六都科学館では館の情報告知を「インフルエンサーによる発信」という施策を実施しており、成果が出れば共有したい。オリジナルグッズ開発のノウハウも確立してきたので協力させてもらえればと思う。

(委 員) 来年の昆虫展について、清瀬の希少な生態系の中で、昆虫の生態やどのように清瀬に来たかを掘り下げ、生態系保全に貢献したいと考えて

いる。

(部 長) 空調工事について、館内の空調が弱くなっているが、改善には何億円もの予算が必要となる。現在行うことは現実的ではない。そのため、ロビーに簡易エアコンを付けることを検討している。

(事務局) 博物館40周年記念はテーマ展示とともに友の会共催で行う。また、同じ40周年の立川市とコラボし、10月から清瀬市で立川の展示を、1月から立川市で清瀬市の展示を実施する。

(会 長) 館の周囲、自然観察コースの雑草が多いが整理できないか。

(部 長) 博物館の管理業者に草刈りをやってもらっているが、熱中症の危険があるため、もう少し涼しくなってから整備させてほしい。

(会 長) ケヤキロードギャラリーの草も刈られているところもあるが、そうではないところもある。

(部 長) 道路交通課が担当であるが、少人数の職員で市内全域の草刈りを実施しており人員的にすぐには難しい。少しずつ対応させてもらっている。除草剤は街路樹が枯れてしまうため使用できない。雑草刈りは今の時期厳しい。

(会 長) 伝承スタジオについて、かまどは移動したのか。

(部 長) 移動はしていない。これまで展示に使用していたが、一区切りついたので戻した。ただ、実際に市民の方が利用するのは年に1、2回のことであり、使用する方は少なくなっている。

(会 長) うちおりのリーフレットは作れないか。

(部 長) すぐには難しいが、現在刊行した報告書の中を抜粋して対応したい。

(会 長) 昔遊び（めんこやおはじき、けん玉など）を子どもたちとしようという計画はあるか。

(館 長) 常時ではないが、企画展の中の企画の一部として行うことは計画している。常時となるとそれを管理することが難しく、過去に置いていた際はいたずらなどで物が紛失することもあった。55周年の展示の際

に考えている。

(部 長) めんこ等をしていたのは私たちが最後の世代だと思う。今のお父さんの中にはめんこをしたことがない人が増えている。伝承スタジオのかまども使い方を知る人がいない。実際に来館者が物を見ても話せない、使えない物が増えていく。今後は昭和のものも伝承していく必要がある。昭和のものを歴史として、伝承の考え方を見直していく必要がある。

(委 員) 伝承というと構えてしまうが、こんな遊びが昔はあった、楽しいよという切り口であれば、多摩六都科学館では年末ボランティアの方にめんこやおはじき、けん玉などをやってもらっている。かなり人気で1時間くらい遊ぶ子どももいる。けん玉は特殊で、多摩六都科学館では競技用けん玉をやっている人を探し、定期的に教室を開き、検定を行い賞状なども渡している。伝承とまではいかないが、フィジカルな遊びとして伝えていけたら良いと思っている。また、年齢差のあるボランティアと子どもの交流が生まれている点にも意味があると思っている。

(部 長) 昔のちょっとした遊びや知恵も伝えていきたいが、ボランティアの力が必要。

(会 長) 子どもたちが触れる体験は貴重なので続けてほしい。

(委 員) 物を置けば、職員が1人は必要になる。現在は安全面にも気を遣わなければいけない。その点の匙加減は難しい。

6 閉会

(会 長) 以上で本日予定していた議事についてはすべて終了する。これをもって本日の博物館協議会を閉会する。